

令和元年度 第1回田原市総合教育会議 議事録

1 日 時 令和元年5月10日(金) 午後3時00分～午後4時00分

2 場 所 田原市役所 南庁舎4階 政策会議室

3 内 容

- (1) 報告事項(田原市学校未来創造計画について)
- (2) 報告事項(各種スポーツイベントについて)
- (3) 報告事項(田原市観光まちづくり教育に関する連携協定について)

4 出 席 者

市 長	山下 政良
教育委員会 教育長	花井 隆
教育委員会 教育長職務代理	太田 孝雄
教育委員会 委員	山本 明子
教育委員会 委員	金田 真也
教育委員会 委員	天野 千栄子

5 会議構成員以外の出席者及び事務局

企画部長	石川 恵史
教育部長	宮川 裕之
企画部次長	内田 久
企画部企画課長	大羽 浩和
教育部教育総務課長	伊藤 英洋
教育部学校教育課長	渡邊 宏光
教育部スポーツ課長	粕谷 幸充
教育部教育総務課課長補佐兼係長	小久保 義則
企画部企画課係長	佐々木 豊
教育部教育総務課主査	彦坂 幸子

6 傍聴人

なし

7 協議の経過

(企画部長)

時間となりましたので、ただ今から令和元年度第1回田原市総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、始めに、山下市長からあいさつを申し上げます。

(市長)

田原は、まだ豚コレラが落ち着いておりません。大変ですが、農水省や愛知県へ要望を行っている状況でございます。

今日は第1回目の総合教育会議ということで、新たにご提案申し上げることがございます。ご審議をいただき、いろいろなご意見をお聞かせいただければありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

(企画部長)

ありがとうございました。

それでは、議事についての進行は、本会議の議長であります市長にお願いいたします。

市長、よろしく申し上げます。

(市長)

それでは、本日は、議事事項はございませんので、報告事項に入ります。(1) 田原市学校未来創造計画について、事務局から説明をお願いします。

(教育総務課長から (1) について説明)

(市長)

ただいま、田原市学校未来創造計画について、事務局から説明がありました。主に学校のプール、スクールバスの件になろうかと思いますが、ご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

教育委員さんとして、この件についてはどのようなお考えをお持ちでしょうか。自由にご意見、ご質問等を含め、ございましたらお願いいたします。

(太田委員)

小学校でも中学校でも統合を経験し、伊良湖岬小学校のプールも設置しないということになると、保護者や地域の方々からの感情的な反感も出てくるのではないかと心配です。市全体の動きをよく理解していただくことが重要だと思います。亀山小学校も老朽化しており、伊良湖岬中学校を利用することも検討できないでしょうか。

(教育総務課長)

伊良湖岬小学校の契約は9月議会の案件となりますが、6月議会で状況を報告し地元の方にも根強く説明していきたい。伊良湖岬中学校については解体工事が始まっており、亀山小学校についても一番古いプールとなっています。今後、学校現場も検討に入っただき、福江小学校や中山小学校についても、どこまでの距離がスクールバスなどで移動可能かということも含めて、子どもたちがプール授業やプール以外の合同授業についても検討していきたい。

(市長)

伊良湖岬小学校の竣工する令和3年9月までに結論を出さなくてはいけない。少しの期間しか使えないプールを全校に設置することがいいのか、50メートルプールではなく25メートルプールでいいのか。一つ大きいプールを作れば、スクールバスで移動しインストラクターを配置することで学校の先生もよくなります。子どもたちにとってどの方法が良いのかをご検討いただきたい。

(太田委員)

小学校におけるプールと中学校におけるプールは重さが違う。小学校のプールは大事だが、中学校はそれほど使用しない。小学校ではプールで感動や自信を味わえる。移動する方法もあるが、着替えや体のケアがあるためもう少し綿密に検討した方がよい。中学校のプールを活用した方が移動時間は短く、学習時間を確保できるのではないか。今後検討会でしっかりと検討してほしい。

(教育総務課長)

伊良湖岬小学校と亀山小学校が福江中学校で合同で授業を受けることも考えていきたい。また、豊田市では2時間授業としており、移動する前に着替えをし、プール授業を行う。その後、

そこで着替えをし、次の時間は合同授業をしている。よりよい方法を模索していきたい。

(市長)

お金の面だけではなく、1年間使用できるプールを作ったほうが良いのではないか。子どもの1年間のプール授業はどのくらいか。

(学校教育課長)

プールの使用は6月の上旬から7月10日頃までで、一人20時間程度です。

(市長)

各学校すべてにプールを配置するのではなく、中央へ集めるという考え方はないですか。

(教育総務課長)

いろんな自治体を見ると、完全に学校プールを廃止して民間プールや市民プールを活用しているところもあります。全天候型市民プールがあれば、年間通して授業を受けられるようになります。

(市長)

その方が、金銭的・時間的なロスが少ないのではないのでしょうか。今後、老朽化したプールを作り直さなければならないので、早いうちに結論を出していきたい。

(教育総務課長)

プール新設に1億5千万円、改修はプールサイドだけで2千万円かかりますので、その分でスクールバスを運行するという考え方もあります。

(市長)

スクールバスについてはどうですか。直営の方が使い勝手が良いのでは。アメリカでは各学校に15台程度のスクールバスを持っています。

(教育長)

委託について5年間は文科省の補助金が出ますが、それ以降は市で出さなくてはなりません。スクールバスの経費を削減し、教育の充実に充てていきたい。姉妹都市のジョージタウンでは、バスを10年、20年使っています。見通しを持ち、使い方を考えていけば、直営の方がもう少し有効に使えるのではないのでしょうか。委員の皆さんどうですか。

(山本委員)

私は委託するのはもったいないと思います。

(金田委員)

スクールバスを利用する生徒の基準はどうなっていますか。

(教育総務課長)

小学生4キロ以上、中学生6キロ以上で公共交通機関がないところを委託で行っています。直営になれば、登下校以外でも活用できるようになります。

(教育長)

安全な通学路がない場合は、4キロ未満の児童もスクールバスを利用しています。あまり短い距離でバスを利用するのは体力的に問題があり、安全であれば自転車で通った方が、待ち時

間など時間的な融通がききます。

(市長)

他にご意見・ご質問など無いようですので、プールとスクールバスについては早急に方向性を決めていくということでよろしく願いいたします。

よろしければ、次に移りたいと思います。

それでは次に、(2) 各種スポーツイベントについて、事務局から説明をお願いします。

(スポーツ課長から (2) について説明)

(市長)

ただ今、各種スポーツイベントについて、事務局から説明がありました。この件に関しては、いかがでしょうか。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(金田委員)

トライアスロン伊良湖大会について、制限時間はありますか。高校生ボランティアや職員が遅くまで残っているので、もう少し制限時間を早めにはできませんか。

(スポーツ課長)

種目別に制限時間がございますが、制限時間の合図があってもまだ走り続ける選手もおり、なかなかすぐに帰ることができない状況です。

(教育長)

ニュースポーツについては、今後、中身を含めて見直していきます。

(スポーツ課長)

ニュースポーツは、いつまでニュースポーツと言うのかとは思いますが、表記を改めていき中身もスポーツ推進員や普及員と検討していきたい。

(市長)

他にご意見・ご質問など無いようですので、次に、(3) 田原市観光まちづくり教育に関する連携協定について、事務局から説明をお願いします。

(企画課長から (3) について説明)

(市長)

ただ今、田原市観光まちづくり教育に関する連携協定について、事務局から説明がありました。この件に関しては、いかがでしょうか。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(市長)

福江高校の生徒には昨年全国の全井サミットでも活躍いただきました。観光ビューローと商工会で行ったイベントですが、生徒のインターンシップとして非常に良かったと思います。

(教育長)

福江高校はトライアスロンなど皆さんの前に出る機会がありいいことだと思います。駅伝の応援など各種イベントなど関わり方はありますので、積極的に応援していきたい。併せて渥美農高や成章高校も応援していきたい。

(市長)

他にご意見・ご質問など無いようですので、田原市観光まちづくり教育に関する連携協定については、地域社会の発展と、地域に貢献できる人材育成に向け、相互の連携・協力をお願いいたします。

以上で、報告事項を終わりました。その他に移ります。事務局から何かございますか。

(教育総務課長から小中学校空調設備設置工事の進捗状況及び高校生のバス通学支援制度について報告)

(学校教育課長から特別支援教育の充実について報告)

(市長)

教育委員のみなさんからご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(教育長)

空調設備設置工事については、何とか2学期あたまには使えるように進めています。

(教育総務課長)

ゴールデンウィークも休みなく施工していますが、後は製品が納入できればすぐ工事できる状況となっています。

(教育長)

特別支援教育についても、愛知県へ要望を行っています。高校の空き教室を利用し、長時間通学を解消していきたいと思います。

(市長)

現在は、伊良湖から豊川まで通学するために2時間30分かかっています。空き教室を有効利用していきたい。

(山本委員)

福江高校の観光ビジネスコースは専門の教員がいるのでしょうか。

(教育長)

福江高校での経験の長い先生もいますが、専門の方がいなければ商工会などを含め技能のある方を講師としてお願いすることも可能です。何とか定員割れにならないようにしていきたい。

(企画部長)

昨年度のナゴヤドームイベントにも福江高校の生徒さんには参加していただいた。

(市長)

他に何か委員の皆さんからございますか。よろしいですか。

それでは、ご協力ありがとうございました。以上をもちまして、令和元年度第1回田原市総合教育会議を閉会させていただきます。

今日は本当にありがとうございました。

(閉会 午後4時00分)